

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第10期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

【英訳名】 GMO Financial Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役兼代表執行役社長 CEO 鬼頭 弘泰

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号

【電話番号】 03-6221-0206(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役 CFO 山本 樹

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号

【電話番号】 03-6221-0206(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役 CFO 山本 樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第9期 第1四半期 連結累計期間	第10期 第1四半期 連結累計期間	第9期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
営業収益 (百万円)	6,905	10,365	32,501
経常利益 (百万円)	1,314	3,820	9,686
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	617	2,344	6,073
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	639	1,783	6,556
純資産額 (百万円)	34,817	38,658	37,803
総資産額 (百万円)	566,484	626,754	606,528
1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	5.17	19.89	51.42
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	5.13	19.76	51.01
自己資本比率 (%)	6.0	6.0	6.0

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の連結子会社（以下「GMO-FH」）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、また、2020年3月23日に提出した「有価証券報告書」に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在においてGMO-FHが判断したものであります。

#### (1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間の営業収益は10,365百万円（前年同期比50.1%増）、純営業収益は9,836百万円（同53.3%増）、営業利益は4,048百万円（同200.2%増）、経常利益は3,820百万円（同190.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,344百万円（同279.9%増）となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	6,905	10,365	3,459	50.1%
受入手数料	918	1,151	232	25.4%
トレーディング損益	4,896	8,113	3,217	65.7%
金融収益	910	914	4	0.4%
その他の営業収益	24	42	18	77.0%
その他の売上高	156	143	12	8.3%
金融費用	371	416	45	12.4%
売上原価	117	111	6	5.2%
純営業収益	6,416	9,836	3,419	53.3%
販売費及び一般管理費	5,067	5,787	719	14.2%
営業利益	1,348	4,048	2,700	200.2%
経常利益	1,314	3,820	2,505	190.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	617	2,344	1,727	279.9%

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

なお、2019年5月31日に成立した資金決済法の改正法（以下、改正資金決済法）において「仮想通貨」の名称が「暗号資産」に変更されたことを受け、改正資金決済法の施行を前に、法令の名称に合わせてセグメント名称を「暗号資産事業」に変更いたしました。

## 営業収益内訳（セグメント別/商品別）

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
証券・FX事業	6,239	9,021	2,781	44.6%
株式・ETF等 1	467	516	48	10.5%
先物・オプション	53	88	35	65.8%
取引所FX	143	196	52	36.6%
通貨関連店頭デリバティブ	4,093	5,800	1,706	41.7%
CFD 2	537	1,484	946	176.1%
金融収益	910	914	4	0.4%
その他	33	21	11	35.7%
暗号資産事業	507	1,197	690	136.0%
暗号資産	507	1,197	690	136.0%
その他	158	145	12	8.2%
その他	158	145	12	8.2%
調整額	0	0	0	-
営業収益合計	6,905	10,365	3,459	50.1%

- 1 株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料が含まれています。
- 2 CFDには、一部海外子会社の店頭FXに係る収益が含まれています。株BOは2019年4月から商品の取り扱いを開始しました。

## （証券・FX事業）

店頭FXやCFD等の店頭デリバティブ取引については、外国為替市場や商品先物市場、株価指数のボラティリティが上昇したことを背景に取引高・収益ともに好調に推移しました。株式関連取引についても、株式等委託売買代金の増加を受けて受入手数料が増加した結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は9,021百万円（前年同期比44.6%増）、営業利益は3,448百万円（同130.5%増）となりました。

## （暗号資産事業）

暗号資産事業については、2020年1月に開設口座数が30万口座を突破し、順調に顧客基盤が拡大しました。収益・利益面においては、ビットコインを中心に暗号資産のボラティリティが上昇したことで取引高が増加し、カパロジックの改善に向けた取り組みの効果もあり、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は1,197百万円（前年同期比136.0%増）、営業利益は567百万円（前年同期は185百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態の分析

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	606,528	626,754	20,226
負債	568,724	588,096	19,371
純資産	37,803	38,658	854

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は626,754百万円（前期末比20,226百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加26,738百万円、短期差入保証金の増加14,444百万円、支払差金勘定の増加11,065百万円、預託金の減少4,855百万円、信用取引資産の減少26,152百万円などによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は588,096百万円（前期末比19,371百万円の増加）となりました。これは主に、受入保証金の増加5,688百万円、短期借入金の増加18,501百万円、有価証券担保借入金の減少2,584百万円、預り金の減少4,983百万円などによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は38,658百万円（前期末比854百万円の増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払いによる利益剰余金の減少の結果として利益剰余金が1,621百万円増加したことなどによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、GMO-FHの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、著しい変動はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

契約の名称	ボンド・ファシリティ契約
契約会社	GMOクリック証券株式会社
契約相手先	アレンジャー：株式会社三井住友銀行
保証期間	2020年4月10日から2021年3月30日まで
主な内容	GMOクリック証券株式会社の店頭外国為証拠金取引及び商品（貴金属）CFDにおいて、カバー取引先に差入れる取引証拠金に代用する銀行保証状の発行。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	187,500,000
計	187,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	117,882,903	117,882,903	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	117,882,903	117,882,903		

(注) 提出日現在発行数には、2020年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日 (注)	145,118	117,882,903	14	702	14	1,548

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 117,870,900	1,178,709	
単元未満株式	普通株式 12,003		
発行済株式総数	117,882,903		
総株主の議決権		1,178,709	

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）、及び「有価証券関連業経理の統一に関する規則」（昭和49年11月14日付日本証券業協会自主規制規則）に準拠して作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,718	88,456
預託金	308,037	303,181
預り暗号資産	17,405	18,747
信用取引資産	98,246	72,093
有価証券担保貸付金	9,531	8,446
短期差入保証金	55,052	69,497
支払差金勘定	37,932	48,997
その他	10,337	9,463
貸倒引当金	113	138
流動資産合計	598,146	618,744
固定資産		
有形固定資産	1,268	1,216
無形固定資産	2,543	2,390
投資その他の資産		
繰延税金資産	924	931
その他	3,695	3,558
貸倒引当金	50	86
投資その他の資産合計	4,569	4,403
固定資産合計	8,381	8,010
資産合計	606,528	626,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
信用取引負債	35,496	35,159
有価証券担保借入金	14,849	12,265
預り金	52,765	47,781
預り暗号資産	17,405	18,747
受入保証金	338,161	343,850
受取差金勘定	3,506	2,724
短期借入金	86,446	104,948
1年内返済予定の長期借入金	3,270	3,470
未払法人税等	513	1,308
賞与引当金	322	376
役員賞与引当金	27	123
その他	7,948	8,524
流動負債合計	560,713	579,279
固定負債		
長期借入金	6,180	6,662
その他	598	930
固定負債合計	6,778	7,593
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,231	1,223
特別法上の準備金合計	1,231	1,223
負債合計	568,724	588,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	688	702
資本剰余金	1,281	1,295
利益剰余金	34,029	35,650
株主資本合計	35,999	37,649
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	659	48
その他の包括利益累計額合計	659	48
非支配株主持分	1,145	1,058
純資産合計	37,803	38,658
負債純資産合計	606,528	626,754

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
<b>営業収益</b>		
受入手数料	918	1,151
トレーディング損益	4,896	8,113
金融収益	910	914
その他の営業収益	24	42
その他の売上高	156	143
<b>営業収益合計</b>	<b>6,905</b>	<b>10,365</b>
金融費用	371	416
売上原価	117	111
<b>純営業収益</b>	<b>6,416</b>	<b>9,836</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
取引関係費	2,049	2,188
人件費	921	1,368
不動産関係費	738	797
事務費	775	770
減価償却費	226	242
租税公課	155	223
貸倒引当金繰入額	114	80
のれん償却額	40	40
その他	45	75
<b>販売費及び一般管理費合計</b>	<b>5,067</b>	<b>5,787</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,348</b>	<b>4,048</b>
<b>営業外収益</b>		
還付加算金	-	1
その他	2	2
<b>営業外収益合計</b>	<b>2</b>	<b>4</b>
<b>営業外費用</b>		
為替差損	1	173
投資事業組合運用損	30	58
その他	5	0
<b>営業外費用合計</b>	<b>36</b>	<b>232</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,314</b>	<b>3,820</b>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
<b>特別利益</b>		
金融商品取引責任準備金戻入	88	7
<b>特別利益合計</b>	<b>88</b>	<b>7</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	0	5
投資有価証券評価損	398	-
<b>特別損失合計</b>	<b>398</b>	<b>5</b>
税金等調整前四半期純利益	1,004	3,823
法人税、住民税及び事業税	295	1,337
法人税等調整額	172	6
<b>法人税等合計</b>	<b>468</b>	<b>1,330</b>
四半期純利益	536	2,492
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	80	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	617	2,344

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	536	2,492
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	103	709
その他の包括利益合計	103	709
四半期包括利益	639	1,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720	1,636
非支配株主に係る四半期包括利益	80	147

## 【注記事項】

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動資産」に表示していた「預り仮想通貨」及び「流動負債」に表示していた「預り仮想通貨」は、当第1四半期連結会計期間より「流動資産」の「預り暗号資産」及び「流動負債」の「預り暗号資産」と表示しております。これらの表示の変更は、2020年5月1日に施行された改正資金決済法において、「仮想通貨」の名称が「暗号資産」に変更されたことによるものです。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「預り仮想通貨」17,405百万円は、「流動資産」の「預り暗号資産」17,405百万円として表示しており、「流動負債」の「預り仮想通貨」17,405百万円は、「流動負債」の「預り暗号資産」17,405百万円として表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	226百万円	242百万円
のれんの償却額	40百万円	40百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月4日 取締役会	普通株式	751	6.27	2018年12月31日	2019年3月25日	利益剰余金

## 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 取締役会	普通株式	307	2.59	2019年3月31日	2019年6月20日	利益剰余金

## 3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年2月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,541,500株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,021百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,021百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

### 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月4日 取締役会	普通株式	722	6.14	2019年12月31日	2020年3月13日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月28日 取締役会	普通株式	1,407	11.94	2020年3月31日	2020年6月22日	利益剰余金

### 3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,243	502	6,746	158	-	6,905
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4	4	0	-	0	-
計	6,239	507	6,747	158	0	6,905
セグメント利益又は損失( )	1,495	185	1,309	39	0	1,348

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
外部顧客への営業収益	9,034	1,184	10,219	145	-	10,365
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12	13	0	-	0	-
計	9,021	1,197	10,219	145	0	10,365
セグメント利益	3,448	567	4,015	33	0	4,048

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「仮想通貨事業」としていたセグメント名称を「暗号資産事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

## (金融商品関係)

当第1四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## (有価証券関係)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

## (デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末(2019年12月31日)

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	外国為替証拠金取引				
	売建	832,863	-	24,711	24,711
	買建	795,975	-	8,797	8,797
合計		-	-	33,509	33,509

(注) 時価の算定方法 連結会計年度末の直物為替相場により算定しております。

当第1四半期連結会計期間末(2020年3月31日)

対象物の種類が通貨であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該取引の契約額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	外国為替証拠金取引				
	売建	627,514	-	40,208	40,208
	買建	579,875	-	4,865	4,865
合計		-	-	45,074	45,074

(注) 時価の算定方法 当第1四半期連結会計期間末の直物為替相場により算定しております。



## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	5.17円	19.89円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	617	2,344
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	617	2,344
普通株式の期中平均株式数(株)	119,287,018	117,834,491
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	5.13円	19.76円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,056,474	821,460
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2 【その他】

### （剰余金の配当）

2020年2月4日開催の取締役会において、2019年12月31日の最終株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議し、配当を行っております。

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| (1) 配当金の総額           | 722百万円     |
| (2) 1株当たりの配当額        | 6円14銭      |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始 | 2020年3月13日 |

2020年4月28日開催の取締役会において、2020年3月31日の最終株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり第1四半期配当を行うことを決議いたしました。

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| (1) 配当金の総額           | 1,407百万円   |
| (2) 1株当たりの配当額        | 11円94銭     |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始 | 2020年6月22日 |

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	芝田雅也
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	野根俊和
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大辻隼人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOフィナンシャルホールディングス株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、GMOフィナンシャルホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。